

令和6年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	・平仮名を正しく読んだり、書いたりすること。 ・文章の内容の大体を理解すること。 ・話の内容を正しく聞き取ること。
算数	・引き算や足し算などを正しく計算すること。 ・問題を正しく捉え、式に表すこと。 ・ものの形の特徴や、形の構成について考えること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	・長音・拗音・促音・撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使う力。 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えたり、場面の様子や登場人物の行動などから、内容の大体を捉えたりする力。 ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉える力。	・文章を書くときには、文字の表記の仕方に注意を促し、誤字は訂正させる。 ・読み聞かせを聞いたり物語を読んだりして、内容や感想などを伝え合う。 ・図鑑や科学的なことについて書いた本を読み、分かったことをまとめる。 ・全体読みを重視し、文意を総合的に捉えさせる。 ・話の中心は何かに気を付けて、話す人を見て話を聞く姿勢を身に付けさせる。
算数	・正確に計算する力。 ・加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりする力。 ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力。	・正しく計算できるように、朝学習や宿題などで繰り返し練習問題に取り組ませる。 ・式を答えさせるだけでなく、立式の根拠を、絵や図などを用いて考えを発表させたり、問題文を正しく読み取れるように下線を引かせたりする。 ・箱などの形を写し取って絵に書かせたり、色板を使って、様々な形づくりに取り組ませたりする。 ・特に、正答率の低い領域であるDデータの活用「わかりやすくせいろしよう」は、指導計画に示す時期だけでなく、定期的に反復や復習の機会を設け、個に応じた指導・支援の下、習熟を図る。

令和6年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	・正しい書き順で漢字や片仮名を書き、文章中での正しい句読点やかぎの使い方を覚えること。 ・内容を理解して、話を聞いたり、読んだりすること。 ・自分の考えをもち、話したり、書いたりすること。
算数	・問題を正しく捉え、的確に答えること。 ・長さ、かさの単位量の感覚を身に付けること。 ・時刻と時間の概念を理解し、時刻や時間を求めたり表したりすること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	・既習の漢字、片仮名、句読点、かぎの用い方を理解し、文章の中で正しく使う力 ・相手の話に関心をもち、大切なことを落とさずに聞く力 ・文章を読み、内容の大体を捉える力。 ・自分の考えや意見をもち、適切に伝え合う力	・週に1回、週末に日記を書く活動を取り入れて、文章を書く力を身に付けさせる。 ・教師や友達が話した後に、相手が言ったことの内容を自分の言葉で発表する活動を授業の中で取り入れる。 ・文章を読んだ後に、内容について問う活動を取り入れ、デジタル教科書などのICT機器を活用して共通理解を図り、文意を視覚的にも捉えさせる。 ・ペアやグループ学習など学習形態を工夫し、自分の考えを伝える活動を充実させる。
算数	・問題を捉え、的確に答える力 ・学習内容を日常生活の場面と関連付けて考え、活用する力 ・時刻と時間の意味や単位に着目し、適切に用いる力	・問題文で何を聞かれているかを確認し、どう答える必要があるかを考えさせる。 ・日常生活の中で、長さ、かさの量感を養えるよう、体験的活動を取り入れる。 ・日常生活の中で時刻や時間を意識した生活を送らせ、求め方や考え方に慣れ親しませる。 ・特に、時間を求める問いや時刻と時間の考え方の定着については、指導計画に示す時期だけでなく、定期的に反復や復習の機会を設け、個に応じた指導・支援の下、習熟を図る。

令和6年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	・経験したことから書くことを見付け、文章を書くこと。 ・自分の思いや考えが明確になるように、文章を書くこと。
社会	・必要な情報を調べ、まとめる力の育成 ・課題把握、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断し、考えたことを表現すること。
算数	・繰り下がりのある計算をすること。 ・わり算の立式と計算をすること。
理科	・観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けること。 ・差異点や共通点を基に、問題を見いだし表現すること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	・経験したことから書くことを見付け、文章を書く力。 ・自分の思いや考えが明確になるように、文章を書く力。	・思考ツールを活用し、自分の経験と結び付ける活動を取り入れ、文章を書く内容を集められるようにし、定期的に日記など文章を書く機会を設けていく。 ・思考ツールを活用し、自分の思いや考えを明確にしていく。それに関連付けて文章を書く指導を積み重ねる。
社会	・資料を使って調べ、白地図や新聞等などにまとめる力	・日常的に地図や資料に親しませたり、体験を基に考えさせたりした指導を積み重ねる。
算数	・繰り下がりのある計算をすること。 ・わり算の立式と計算をすること。	・位を意識させて計算させたり、半具体物を用いたりして、数の構成について理解させながら繰り下がりのある計算をできるようにする。また、朝学習の時間を活用して、習熟を図る。 ・問題と式と図を関係付けて、立式の根拠を説明する指導を積み重ねる。授業中や朝学習の時間にプリントを活用して、習熟を図る。
理科	・観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けること。 ・共通点や差異点を基に、問題を見いだし、表現すること。	・ICTを使って観察する観点を明確にして観察させたり、実験器具の正しい使い方を確認したりする。活動では2人以上のペアやグループで児童同士の相互評価を行い、技能を高められるようにする。 ・比較できるように2つ以上のものを提示し、共通点や差違点に気付かせる。

令和6年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	・話の内容を正確に聞き取ること。 ・自分の考えを明確にして文章を書くこと。
社会	・必要な情報を得るために資料を正しく読み取ること。
算数	・学習内容を定着させ、新しい問題に出会った時に活用すること。 ・図形を正確にかくこと。
理科	・視点を持ち、日常生活の事象と結び付けて考えること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	・目的意識をもって話を聞き、内容を正確に理解する力 ・自分の意見を持ち、相手にわかりやすく伝える力 ・根拠を明確にし、目的や相手を意識して書く力	・自分の話し合いたい内容の視点をもって、学習に取り組むようにさせる。 ・形態を工夫した話し合い・伝え合いの場を積極的に設定する。 ・題材の設定や情報の収集を児童自ら行う活動を計画的に取り入れる。
社会	・目的に合わせて資料を選択する力 ・資料を正しく読み取る力	・図書や地図帳を計画的に活用させる。 ・グラフや写真、インタビュー記事など、情報の収集を児童自ら行う活動を取り入れる。
算数	・既習事項を生かし、筋道立てて考える力 ・学習内容を日常的に活用する力 ・図を正確に書く力	・自分の考えを図や式など様々な方法で表現し、伝え合う活動を多く設定する。 ・朝学習で数と計算領域、測定領域の習熟を継続する。 ・特に、正答率の低い「円と球」「時刻と時間」については、指導計画に示す時期だけでなく、定期的に反復や復習の機会を設け、個に応じた指導・支援の下、習熟を図る。 ・普段の授業から用具の使い方や直線の引き方など統一した指導を行い、作図の基本的技能を習慣付ける。
理科	・自然の事象を自らの生活などに結び付けて考えたり、活用したりする力	・児童の実体験に基づいた活動を主軸に理科の視点をもって考えられるような導入を行うことで、児童自ら学習を調整しながら進められるようにする。

令和6年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	・既習の漢字を正しく書くこと。 ・言葉の意味や使い方などを理解し、目的や意図に応じて適切な言葉を選ぶこと。(言葉の学習) ・指定された長さや段落に気を付けて、自分の思いや考えが伝わるように書くこと。(文章を書く)
社会	・資料を適切に読み取り、資料をもとに判断し表現すること。 ・都道府県や特色ある地域の様子についての知識・理解を深めること。
算数	・分数を使った計算や、わり算・計算のきまりを理解すること。(数と計算) ・伴って変わる二つの数量の関係を正しく理解すること。(変化と関係)
理科	・基本的な実験器具の使い方を確かなものにする。 ・観察実験の結果と、考察を結び付けて考えること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	・日常生活に必要な言葉を理解し、人との関わりの中で適切に表現する力 ・段落や文章構成などを意識して文章を書く力	・言語事項の基本的知識や技能を身に付けさせ文章を書いたり口頭で発表したりする機会を増やす。 ・目的を明確にした友達との対話や話し合いの中で、自分の考えや立場をもつ活動を行う。 ・様々な作品に触れ、言葉による表現の面白さや内容の豊かさに触れる機会を多くもつ。 ・全体読みを重視し、文意を総合的に捉えさせる。
社会	・資料を適切に読み取り、判断する力 ・都道府県の特徴について理解する力	・グラフや表、写真等から考えられることを、既習事項や友達の考えなどと関連させながら考える機会を適宜設ける。 ・産業、工業の特徴を通して各都道府県と関連付けながら考えさせ、理解を深める指導を行う。
算数	・確実に正確に計算する力 ・数値を正しく読み取り、式に表したり関係を捉えたりする力。	・計算の手順を丁寧に確認し、見直しをすることを繰り返し指導するとともに、既習事項を復習し定着を図る。 ・文章問題を正しく読み、必要な二つの数値を捉え、その関係を式に表す指導を丁寧に行う。また、数量関係を言葉で説明し合うなどして、数量関係を感覚的に理解する機会を設ける。 ・特に、正答率の低い比例や折れ線グラフ、6年間でその単元で学習しないものについては、指導計画に示す時期だけでなく、定期的に反復や復習の機会を設け、個に応じた指導・支援の下、習熟を図る。
理科	・基礎的な知識を身に付け、実験器具や科学的用語を適切に扱う力 ・観察実験の結果と、考察を結び付ける力	・単元の中で、意図的に実験器具を扱う時間を設け、科学的用語、基礎的知識の定着を図る。 ・既習事項や生活経験から予想を立て、実験観察に取り組み結果を図表等にまとめ、考察する授業をする。

令和6年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立東泉小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	・主語と述語の関係を捉え、自分の考えを書いたり話したりすること。 ・目的や意図に応じて情報を集めたり、集めた情報を分類したりして伝えたいことを相手に明確に伝えること。
社会	・自分で学習課題を設定し、見通しをもって調べたり解決したりすること。 ・資料を通して、情報を読み取ったり、自分の考えを膨らませたりすること。
算数	・問題文の意味を捉え、正しい演算決定をすること。 ・問題場面の数量の関係を捉え、数や言葉・図などを使って記述すること。
理科	・問題に対して予想したり、結果をもとに考察したりすること。 ・目的を理解し、よりよい解決方法を見出すこと。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	・主語と述語の関係を意識して書いたり話したりすること ・目的や意図に応じて情報を集めることや自分の考えを持って伝え合うこと	・言語事項の基本的知識や技能を身に付けさせ、自分の思いや考えを文章に書いたり、口頭で発表したりする機会を増やす。 ・目的を明確にした友達との対話や話し合いの中で、自分の考えや立場をもつ活動を行う。 ・様々な作品に触れ、言葉による表現の面白さや内容の豊かさに触れる機会を多くもつ。
社会	・自ら学習課題を設定する力 ・見通しをもって調べたり解決したりする力 ・社会的事象に対して自分の考えを膨らませる力	・教科書等の基本的資料から読み取ったことをもとに課題を設定する。 ・学び合い・調べ学習を充実させ、社会的事象を比較・関連・総合させて再構成する学習活動を工夫する。 ・様々な資料を用いて社会的事象に関連することを見付けたり、比較したりして考えを広げる。 ・児童の気付きをもとに学習問題を設定し、問題解決型の授業展開を行うことで主体的な学びを促す。
算数	・正しい演算決定・計算ができる力 ・文章や計算式から問題の意味を捉える力 ・自分の考えを数や言葉・図などを使って記述する力	・特に、正答率の低いもの(小数の掛け算や割り算・速さ・百分率)については、定期的に反復や復習の機会を設け、個に応じた指導・支援の下、習熟を図る。 ・既習事項の基礎的・基本的な概念や性質を想起させながら、題意や計算の仕方などを振り返り、全山決定に結び付ける。 ・文章題に関して、数直線等の既習事項を用いて数量の関係を簡潔に表現し、演算決定につなげていく。 ・図や計算のきまり等、課題の解決に必要な手立てを想起させながら児童が課題にふさわしい手段を選びながら課題解決に取り組めるようにする。
理科	・自然の事物・現象から問題を見だし、主体的に問題を解決する力 ・解決方法を発想し、自分の考えを伝え、相手の意見を聞き、自分の考えを伝え、相手の意見を聞くことでよりよい解決方法を発想する力	・事象提示を充実させ、生活経験と結び付けたり比較したりすることで問題を見だし、予想や仮説を立てられるようにする。 ・児童が自然事象に対して関心をもって学習を進めていけるよう、単元の導入の工夫をする。 ・ICT機器や映像資料など単元の導入場面で積極的に活用し、児童の興味を喚起する。 ・自分なりの予想をし、実験や観察を解決法として考え、結果の考察から結論を表現できるようにする。